

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-170397

(43)Date of publication of application : 20.06.2000

(51)Int.Cl. E04H 1/00
E04B 1/00
G06F 17/60
G06K 7/00

(21)Application number : 10-350369

(71)Applicant : SEKISUI HOUSE LTD
SPACE MUU:KK

(22)Date of filing : 09.12.1998

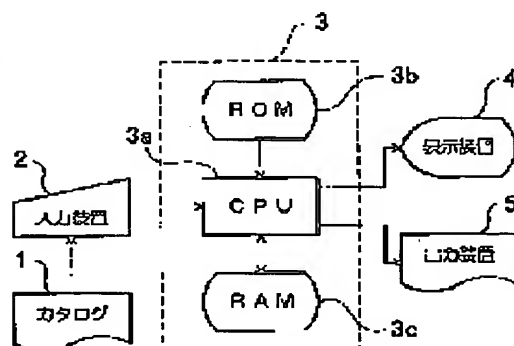
(72)Inventor : MIHASHI SHUNICHIRO
OHASHI SATOSHI
ITO KOICHI

(54) PRESENTATION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a presentation system capable of easily prepare and change the specifications and finish documents for houses.

SOLUTION: This presentation system comprises a choices display unit indicating a plurality of choices, means of storing group data showing the results of respective groups for each item selected from a plurality of the same choices for a plurality of specifications and finishes of buildings, data input means, means for preparing specifications and finish data in accordance with the results of selection of the choices by the data input means, means for memorizing these specifications and the finish data, means for preparing the specifications and finish tables based on the specification and finish data prepared, and data output means for outputting the specifications and finish tables, bar codes showing the choices are attached for each choice, and the selection of specifications and finishes is performed for each group by reading bar codes required by the data input means.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-170397
(P2000-170397A)

(43) 公開日 平成12年6月20日 (2000.6.20)

| (51) Int.Cl. ⁷ | 識別記号 | F I | コード (参考) |
|---------------------------|------|---------------|-----------|
| E 0 4 H 1/00 | | E 0 4 H 1/00 | 5 B 0 4 9 |
| E 0 4 B 1/00 | | E 0 4 B 1/00 | 5 B 0 7 2 |
| G 0 6 F 17/60 | | G 0 6 K 7/00 | U |
| G 0 6 K 7/00 | | G 0 6 F 15/21 | T |

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平10-350369

(22) 出願日 平成10年12月9日 (1998.12.9)

(71) 出願人 000198787

積水ハウス株式会社

大阪府大阪市北区大淀中1丁目1番88号

(71) 出願人 598169653

株式会社スペースムー

東京都大田区大森北3-4-5 平安ビル7
階

(72) 発明者 三橋 俊一郎

大阪府大阪市北区大淀中一丁目1番88号
積水ハウス株式会社内

(74) 代理人 100075502

弁理士 倉内 義朗

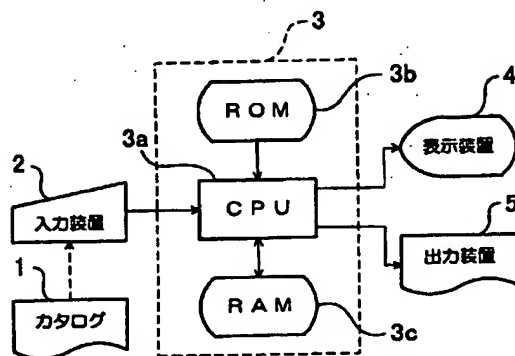
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 プレゼンテーションシステム

(57) 【要約】

【課題】 住宅の仕様書や仕上書の作成および変更がより容易にできるプレゼンテーションシステムを提供する。

【解決手段】 複数の選択肢が記載された選択肢表示部材と、建物の複数の仕様および仕上を同一の複数の選択肢から選択されるものごとにグループ分けした結果を示すグループデータを記憶した手段と、データ入力手段と、データ入力手段による選択肢の選択結果に従って仕様および仕上データを作成する手段と、この仕様および仕上データを記憶する手段と、作成された仕様および仕上データに基づき仕様書および仕上表を作成する手段と、仕様書および仕上表を出力するデータ出力手段とから構成され、選択肢表示部材には、選択肢ごとにその選択肢を示すバーコードが付されており、データ入力手段によって所望のバーコードを読み取ることにより、グループごとに仕様および仕上の選択が行われる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 建物の複数の仕様および仕上を選択するための複数の選択肢が記載された選択肢表示部材と、前記複数の仕様および仕上を同一の複数の選択肢から選択されるものごとにグループ分けした結果を示すグループデータを記憶した手段と、データ入力手段と、このデータ入力手段による選択肢の選択結果に従って仕様および仕上データを作成する手段と、作成された仕様および仕上データを記憶する手段と、作成された仕様および仕上データに基づき建物の仕様書および仕上表を作成する手段と、作成された建物の仕様書および仕上表を出力するデータ出力手段とから構成され、前記選択肢表示部材には、選択肢ごとにその選択肢を示すバーコードが付されており、データ入力手段によって所望のバーコードを読み取ることにより、グループごとに建物の仕様および仕上の選択が行われることを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項2】 建物の複数の仕様および仕上を選択するための複数の選択肢が記載された選択肢表示部材と、複数の基本的な仕様および仕上パターンを示す基本データを記憶した手段と、データ入力手段と、このデータ入力手段による選択肢の選択結果に従って仕様および仕上データを作成する手段と、作成された仕様および仕上データを記憶する手段と、作成された仕様および仕上データに基づき建物の仕様書および仕上表を作成する手段と、作成された建物の仕様書および仕上表を出力するデータ出力手段とから構成され、前記選択肢表示部材には、選択肢ごとにその選択肢を示すバーコードが付されており、前記データ入力手段によって基本データから所望の基本的な仕様および仕上パターンが選択された後、データ入力手段によって所望のバーコードを読み取ることにより仕様および仕上の再選択が行われることを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、各項目ごとに所望の選択肢を選択し、建物（例えば住宅）の仕様および仕上を決定して建物の仕様書および仕上表を作成するためのプレゼンテーションシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 住宅の建築を行う場合、まず、建築する土地の広さや状態等を考慮しながら、厨房等の各設備やリビング等の部屋の配置を示す設計図面を作成する。そして、この設計図面に基づき、床や天井および壁などの仕上材、階段の段数、浴室のバスユニットの種類や色、および厨房のキッチンの種類や色

といった内装の仕様や仕上を決定し、仕様書や仕上書を作成する。

【0004】 通常、この内装の仕様や仕上について、各項目ごとに複数の選択肢が予め設定されている。従って、内装の仕様や仕上を決定するには、各項目ごとに複数の選択肢から所望のものを選択すればよい。

【0005】 従来は、これら選択肢が写真や色見本等の形式で項目別に列記されているカタログを参照しながら、仕様書や仕上書を作成していた。

【0006】 例えば、厨房のキッチンの仕様を決定するには、設計中の住宅の厨房の広さを考慮しながらキッチンの形状や大きさ等の種類を選択し、さらに、キッチンの戸棚の材質や色を選択する。そして、決定した厨房のキッチンの仕様を仕様書に記載する。このとき、選択肢とともにカタログに記載されている識別番号も、キッチンの発注等のために仕様書に記載する。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 前述のような手順で住宅の仕様書や仕上書を作成した場合には、仕様書や仕上書に選択したものの名称等を書き込むのに手間がかかり、さらに、カタログから転記する際に書き間違いをする場合がある。例えば、識別番号を写し間違えた場合には発注ミスが生じる。

【0008】 また、一度作成した仕様書や仕上書に変更を加えるには、修正液等を用いて修正するか、もしくは再度作成し直す必要がある。

【0009】 さらに、仕様や仕上別に選択肢を選択して、全ての仕様や仕上を1つずつ決定するのには手間がかかる。

【0010】 本発明はこのような問題を解決すべく創案されたもので、住宅の仕様書や仕上書の作成が効率良くできるとともにその変更が容易にできるプレゼンテーションシステムを提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】 本発明の請求項1記載のプレゼンテーションシステムは、建物の複数の仕様および仕上を選択するための複数の選択肢が記載された選択肢表示部材と、前記複数の仕様および仕上を同一の複数の選択肢から選択されるものごとにグループ分けした結果を示すグループデータを記憶した手段と、データ入力手段と、このデータ入力手段による選択肢の選択結果に従って仕様および仕上データを作成する手段と、作成された仕様および仕上データを記憶する手段と、作成された仕様および仕上データに基づき建物の仕様書および仕上表を作成する手段と、作成された建物の仕様書および仕上表を出力するデータ出力手段とから構成され、前記選択肢表示部材には、選択肢ごとにその選択肢を示すバーコードが付されており、データ入力手段によって所望のバーコードを読み取ることにより、グループごとに建物の仕様および仕上の選択が行われるものである。

【0012】本発明の請求項2記載のプレゼンテーションシステムは、建物の複数の仕様および仕上を選択するための複数の選択肢が記載された選択肢表示部材と、複数の基本的な仕様および仕上パターンを示す基本データを記憶した手段と、データ入力手段と、このデータ入力手段による選択肢の選択結果に従って仕様および仕上データを作成する手段と、作成された仕様および仕上データを記憶する手段と、作成された仕様および仕上データに基づき建物の仕様書および仕上表を作成する手段と、作成された建物の仕様書および仕上表を出力するデータ出力手段とから構成され、前記選択肢表示部材には、選択肢ごとにその選択肢を示すバーコードが付されており、前記データ入力手段によって基本データから所望の基本的な仕様および仕上パターンが選択された後、データ入力手段によって所望のバーコードを読み取ることにより仕様および仕上の再選択が行われるものである。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、本発明のプレゼンテーションシステムの実施の形態について図面を参照しつつ説明する。

【0014】図1は、本発明のプレゼンテーションシステムの一実施の形態を機能的に示すブロック図である。図2は、図1に示すプレゼンテーションシステムの構成例を示す説明図である。

【0015】本実施の形態において、プレゼンテーションシステムは、選択肢表示部材と、グループデータ記憶手段と、データ入力手段と、データ作成手段と、データ記憶手段と、仕様書および仕上表作成手段と、データ出力手段とから構成されている。

【0016】前記選択肢表示部材は、例えば選択肢とその選択肢を表すバーコードとを示すカタログ1であり、住宅の複数の仕様および仕上を選択する際に使用するものである。選択肢は、その形状を示す写真や色見本および仕上材見本等であり、バーコードは形状、色、仕上材ごとにそれぞれ設けられていてもよく、形状、色および仕上材の組合せごとに設けられていてもよい。

【0017】グループデータ記憶手段は、前記複数の仕様および仕上を同一の複数の選択肢から選択されるものごとにグループ分けした結果を示すグループデータを記憶したものであり、例えば、ROM (Read Only Memory) 3b (図2には図示せず) によって実現される。このグループデータは、表1に示すように、例えば、グループ番号と、各グループを構成する仕様や仕上を示す項目名とからなる。本実施の形態においては、グループ「1」が全ての廊下および階段室の床仕上げ材で構成されており、グループ「2」が洗面所および便所の壁仕上げ材で構成されており、グループ「3」が厨房、食堂および居間の床仕上げ材で構成されており、グループ「4」が全ての洋室の床仕上げ材で構成されており、グループ「5」が全ての洋室の壁仕上げ材で

構成されており、グループ「6」が全ての和室の床仕上げ材で構成されており、グループ「7」が全ての和室の壁仕上げ材で構成されており、グループ「8」が全ての洋室の押物入れの扉で構成されており、グループ「9」が全ての和室の押物入れの扉で構成されており、グループ「10」が残りの全ての項目で構成されている。このグループ「10」は、グループ入力の対象外の項目、即ち、個々に仕様や仕上の選択が行われる項目で構成されている。

【0018】

【表1】

| グループ番号 | 項目名 |
|--------|--------------------|
| 1 | 全ての廊下および階段室の床仕上げ材 |
| 2 | 洗面所および便所の壁仕上げ材 |
| 3 | 厨房、食堂および居間の床仕上げ材 |
| 4 | 全ての洋室の床仕上げ材 |
| 5 | 全ての洋室の壁仕上げ材 |
| 6 | 全ての和室の床仕上げ材 |
| 7 | 全ての和室の壁仕上げ材 |
| 8 | 全ての洋室の押入れの扉 |
| 9 | 全ての和室の押入れの扉 |
| 10 | グループ1～9に該当しない全ての項目 |

【0019】データ入力手段は、一般に使用される入力装置2であり、例えばマウス2aやバーコードリーダー2bやキーボード2cからなる。

【0020】データ作成手段は、CPU (central processing unit) 3aであり、ROM 3bに保存されたデータ作成用プログラムを読み込んで内装の仕様や仕上の選択手順を実施する。この手段によって、顧客は、表示装置4に表示された項目名を確認しながら、バーコードリーダー2bを用いてバーコードを読み取り、選択可能な内装の仕様や仕上に関するデータを順次入力し、内装の仕様や仕上に関するデータを作成することができる。

【0021】データ記憶手段は、例えばRAM (Random Access Memory) 3c (図2には図示せず) であり、CPU 3aで作成された仕様や仕上に関するデータを記憶する。

【0022】仕様書および仕上表作成手段は、データ作成手段でもあるCPU 3aであり、ROM 3bに保存された仕様書および仕上表作成用プログラムとRAM 3cに記憶された仕様や仕上を示すデータとを読み出し、仕様書および仕上表の作成を実施する。

【0023】データ出力手段は、一般に使用される出力装置5であり、例えばプリンタ5aである。

【0024】なお、入力装置2、CPU 3a、ROM 3b、RAM 3c、表示装置4および出力装置5としては、図2に示すような、一般に使用されるパーソナルコンピュータ3の構成要素およびその付属部品を用いることが可能である。

【0025】次に、本発明のプレゼンテーションシステムを用いて住宅の仕様書および仕上表を作成する手順について説明する。

【0026】図3～図8は、住宅の仕様書および仕上表を作成する際の表示装置の画面の一例を示す説明図である。

【0027】まず、パーソナルコンピュータ3の電源を投入すると、CPU3aにデータ作成用プログラムが読み込まれる。このとき、表示装置4には図3に示すようなメニュー画面が表示される。このメニュー画面には、例えば、データ入力を開始する際に選択する「データ入力」と記載されたデータ入力窓10aと、仕様書および仕上表を印刷する際に選択する「仕様書および仕上表の印刷」と記載された印刷窓10bと、仕様書および仕上表を作成する作業を終了する際に選択する「終了」と記載された終了窓10cとが表示されている。

【0028】次いで、データを入力するために、キーボード2cやマウス2aを用いてデータ入力窓10aを選択する。このとき、表示装置4には図4に示すようなデータ入力画面が表示される。このデータ入力画面には、初めて仕様書および仕上表の作成を行う場合に選択する「新規」と記載された新規窓11aと、以前に作成した仕様書および仕上表をRAM3cから読み出す際に使用される「呼出し」と記載された呼出し窓11bと、入力したデータをRAM3cに記憶する際に選択する「保存」と記載された保存窓11cと、データの呼出しや保存の対象となるRAM3cを指定する際に使用するドライブ指定窓11dと、データの基本情報を入力する画面を表示する際に選択する「次画面」と記載された次画面表示窓11eと、図3に示すメニュー画面を表示する際に選択する「前画面」と記載された前画面表示窓11fと、仕様書や仕上表を作成する対象となる設計図面を選択する際に設計図面の図面番号を入力する図面番号入力窓11gが表示されている。

【0029】次いで、ドライブ指定窓11d内の所定の箇所をマウス2aでクリックすることにより、これから入力するデータの保存場所および対象となる設計図面を選択する(図4においては、クリックされた箇所にレ点が表示されている)。

【0030】次いで、対象となる設計図面の図面番号を図面番号入力窓11gに入力する。次いで、新規窓11aをマウス2aでクリックする。なお、既に記憶されているデータを呼出して変更または利用する場合は、呼出し窓11bをマウス2aでクリックする。このとき、表示装置4には図5に示すような基本情報入力画面が表示される。この基本情報入力画面には、顧客コードや顧客名等、作成する仕様書および仕上表の対象となっている住宅に関する基本情報を入力するための基本情報入力窓12aと、入力した基本情報をRAM3に記憶する際に選択する「登録・更新」と記載された基本情報記憶窓1

2bと、仕様および仕上の選択を開始する際に選択する「次画面」と記載された次画面表示窓12cと、後述する室名指定画面を表示する際に選択する「室名指定画面」と記載された室名指定画面表示窓12dと、図3に示すメニュー画面を表示する際に選択する「前画面」と記載された前画面表示窓12eとが表示されている。なお、新規窓11aをマウス2aでクリックした場合には基本情報入力窓12aは空欄となっており、呼出し窓11bをマウス2aでクリックした場合には以前に記入した情報が表示される。

【0031】次いで、基本情報入力窓12aの空欄や修正箇所に適切な情報を入力した後、基本情報記憶窓12bをマウス2aでクリックし、基本情報入力画面に表示されている基本情報をRAM3cの指定した箇所に記憶する。

【0032】次いで、設計図面中に記載された部屋や設備の室名を指定するために、室名指定画面表示窓12dをマウス2aでクリックして室名指定画面を表示する。このとき、表示装置4には図6に示すような室名指定画面が表示される。この室名指定画面には、室番を示す欄および室名を入力する欄等からなる室名表13aと、基本情報入力画面を表示する際に選択する「前画面」と記載された前画面表示窓13bとが表示されている。なお、室番とは設計図面作成時に各部屋や場所を区別するために付された番号であり、室名とはこの室番で表された部屋や施設の名称である。

【0033】次いで、室名指定画面の空欄にキーボード2cを使用して室名を入力した後、前画面表示窓13bをマウス2aでクリックし、基本情報入力画面を表示する。次いで、基本情報記憶窓12bをマウス2aでクリックし、室名指定画面で入力した室名をRAM3cの指定した箇所に記憶する。

【0034】次いで、仕様および仕上の選択を開始するために、次画面表示窓12cをマウス2aでクリックする。このとき、表示装置4には図7に示すようなデータ作成画面が表示される。このデータ作成画面には、部屋や設備の項目名を示す項目表示窓14aと、選択した設備の形状(または商品)を示す写真表示窓14bと、選択した設備の名称(または商品名)およびその識別番号を入力する名称入力窓14cと、選択した色や材質およびその識別番号を入力する色・材質入力窓14dと、名称入力窓14cや色・材質入力窓14d等に入力したデータを記憶する際に選択される「登録」と記載された登録窓14eと、仕様書および仕上表を表示した状態で仕様や仕上の選択を行う際に選択される「入力画面切替」と記載された入力画面切替窓14fと、基本情報入力画面を表示する際に選択する「前画面」と記載された前画面表示窓14gと、メニュー画面を表示する際に選択する「メニュー画面」と記載されたメニュー画面表示窓14hと、グループ別に一括入力を行う際に選択されるグ

ループ入力窓14i等が表示されている。

【0035】次いで、データ作成画面を表示した状態で、グループ入力窓14iをマウス2aでクリックして選択しCPU3aにグループデータを読み込ませた後、今から選択または変更を行う部屋や設備の室名を項目表示窓14aに入力し、カタログ1に載っている設備や仕上材を選択し、選択した設備または仕上材を示すバーコードをバーコードリーダー2bで読み取る。その結果、データ作成画面の所定の箇所に、選択した設備または仕上材の名称および識別番号が入力される。同時に、CPU3aにおいて、選択した設備または仕上材がグループデータ中のどのグループを構成しているかが判断され、もし、グループ「1」～「9」を構成している項目であった場合、同じグループを構成する仕様や仕上も、同じ設備または仕上材が一括して選択される。

【0036】なお、グループ入力窓14iを選択せずに（または、既にグループ入力窓14iが選択されている場合はグループ入力窓14iをもう一度マウス2aでクリックして選択を解除して）設備や仕上材を選択すれば、1項目ごとに設備や仕上材等を選択できる。従って、一括して選択された仕様や仕上のうち所望の仕様や仕上のみ設備または仕上材を変更することができる。

【0037】次いで、1つの仕様または仕上に関する全ての入力終了したところで登録窓14eをマウス2aでクリックし、入力した仕様または仕上をRAM3cの指定した箇所に記憶する。

【0038】次いで、同様にして、次に選択または変更を行う部屋や設備の室名を項目表示窓14aに入力してデータ作成画面を項目ごとに切替えて、全ての部屋や設備の仕様や仕上を決定する。

【0039】次いで、データ作成画面中のメニュー画面表示窓14hをマウス2aでクリックし、メニュー画面を表示する。ここで、必要に応じて印刷窓10bをマウス2aでクリックして、ROM3bに保存された仕様書および仕上表作成用プログラムとRAM3cに記憶された仕様や仕上を示すデータとをCPU3aに読み込み、仕様書および仕上表を印刷してもよい。

【0040】最後に、メニュー画面中の終了窓10cをマウス2aでクリックし、仕様書および仕上表を作成する作業を終了する。

【0041】なお、前述の部屋や設備の仕様や仕上を選択する工程で、データ作成画面中の入力画面切替窓14fをマウス2aでクリックした場合、ROM3bに保存された仕様書および仕上表作成用プログラムとRAM3cに記憶された仕様や仕上を示すデータとがCPU3aに読み込まれた後、表示装置4に、図8に示すような、仕様書・仕上表画面が表示される。この仕様書・仕上表画面には、部屋や設備の室番や室名（項目名）、選択した内装の仕様や仕上を示す名称（商品名）、色および材質、ならびに識別番号（商品コード）等を表示または入

力する欄15aや、データ作成画面を表示する際に選択される「入力画面切替」と記載された入力画面切替窓15b、メニュー画面を表示する際に選択する「前画面」と記載された前画面表示窓15c、およびグループ入力窓15dが表示されている。

【0042】この仕様書・仕上表画面を参照しつつ内装の仕様や仕上を選択する場合においても、カタログ1から所望の仕様や仕上を示すバーコードをバーコードリーダー2bで読み取ることにより、仕様や仕上を入力することができる。このときも、グループ入力窓15dをマウス2aでクリックすることにより、グループ別入力の開始・終了を選択できる。

【0043】また、前述の実施の形態においては、このグループデータをROM3bに予め記憶させておくことにより、同一の複数の選択肢から選択される仕様や仕上を同時に決定している。しかし、このグループデータの代わりに、基本データをROM3bに予め記憶させておいてもよい。

【0044】この基本データは、複数の基本的な仕様および仕上パターンを示すものであり、パターンを示す番号や名称と、各パターンを選択したときに自動的に選択される仕様および仕上の項目と、選択結果とからなる。この基本データの例としては、施工費や材料費を選択条件として仕様や仕上が設定されている複数のグレードのパターンをデータ化したものがある。また、その他の例としては、本宅として利用する場合、別宅として利用する場合、または特別な防音設備を必要とする場合等、住宅の利用目的を基準として設定された複数のグレードのパターンをデータ化して作成された基本データを用いてもよく、家族構成や家族の年齢を基準として設定された複数のグレードのパターンをデータ化して作成された基本データを用いてもよい。さらに、上記選択条件や基準を適宜組み合わせる基本データを作成してもよい。

【0045】この実施の形態においては、プレゼンテーションシステムは、選択肢表示部材としてのカタログ1と、基本データ記憶手段としてのROM3bと、データ入力手段としての入力装置2と、データ作成手段、ならびに仕様書および仕上表作成手段としてのCPU3aと、データ記憶手段としてのRAM3cと、データ出力手段としての出力装置5とから構成されている。

【0046】このプレゼンテーションシステムにおいては、基本情報入力画面に、基本的な仕様および仕上パターンを選択するためのパターン選択窓12fがさらに表示される（図9参照）。このパターン選択窓12fをマウス2aでクリックすると、図10に示すような、パターン選択画面が表示される。このパターン選択画面には、パターンの名称を示す「パターン1」、「パターン2」、「パターン3」または「パターン4」等の番号が表示された番号窓16a、および基本情報入力画面を表

示する際に選択する「前画面」と記載された前画面表示窓16bが表示されている。

【0047】また、このプレゼンテーションシステムを用いて住宅の仕様書および仕上表を作成する場合には、パターン選択画面を表示して所望のパターン名称をマウス2aでクリックするだけで、全ての仕様および仕上を選択することができ、その後必要に応じて、バーコードをバーコードリーダー2bで読み取りながら仕様や仕上の再選択を個々に行えばよい。

【0048】従って、全ての仕様および仕上を1つずつ選択する必要がないので、前述の実施の形態と比較してさらに短時間で仕様および仕上を決定できる。

【0049】本発明のプレゼンテーションシステムにおいて、仕様や仕上を選択する際の選択項目としては、床、壁および天井の仕上材や、各設備（キッチンやバスユニット等）および階段の段数等に限定されず、建物の内装および外装の全ての仕様および仕上についてあげることができる。すなわち、各部屋のカーテンや照明器具、および壁の中に設けられる断熱材等についても、選択項目として採用することができる。

【0050】なお、表示装置に表示される画面の構成要素および各窓や欄の名称等は、図3～図8に示すものに限定されない。

【0051】また、CPUのデータ出力端子をモデムを介して電話回線に接続してもよい。この場合、顧客がプレゼンテーションシステムが設置されている場所に居る必要はない。例えば、プレゼンテーションシステムを操作する者が、入力情報や変更箇所に関する顧客からの指示を電話やファクシミリまたは電子メール等の手段によって受けてデータ入力を行い、直ちに、作成した仕様書や仕上表をファクシミリまたは電子メール等によって顧客に送信することができる。

【0052】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、データ入力手段によって所望のバーコードを読み取ることにより建物の仕様および仕上の選択が行われるので、住宅の仕様書や仕上書の作成および変更が容易にできる。

【0053】さらに、複数の仕様および仕上を同一の複数の選択肢から選択されるものごとにグループ分けした結果を示すグループデータや、複数の基本的な仕様および仕上パターンを示す基本データに基づき、1回のデータ入力で複数の仕様や仕上を選択することのできることで、効率よく仕様書および仕上表を作成できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のプレゼンテーションシステムの一実施の形態を機能的に示すブロック図である。

【図2】図1に示すプレゼンテーションシステムの構成例を示す説明図である。

【図3】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示されるメニュー画面の一例を示す説明図である。

【図4】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示されるデータ入力画面の一例を示す説明図である。

【図5】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示される基本情報入力画面の一例を示す説明図である。

【図6】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示される室名指定画面の一例を示す説明図である。

【図7】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示されるデータ作成画面の一例を示す説明図である。

【図8】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示される仕様書・仕上表画面の一例を示す説明図である。

【図9】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示される基本情報入力画面の他の例を示す説明図である。

【図10】図1に示すプレゼンテーションシステムの表示装置に表示されるパターン選択画面の一例を示す説明図である。

【符号の説明】

1 カタログ

2 入力装置

2a マウス

2b バーコードリーダー

2c キーボード

3 パーソナルコンピュータ

3a CPU

3b ROM

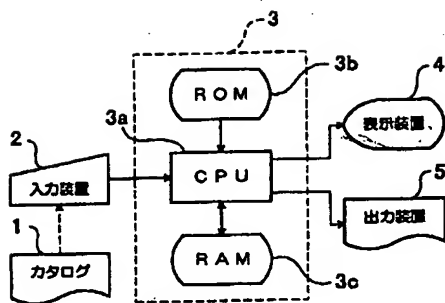
3c RAM

4 表示装置

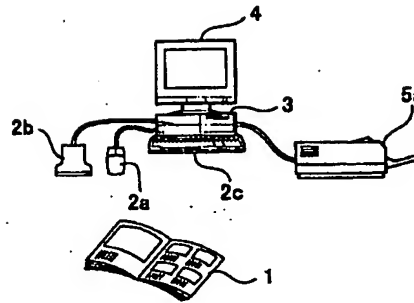
5 出力装置

5a プリンタ

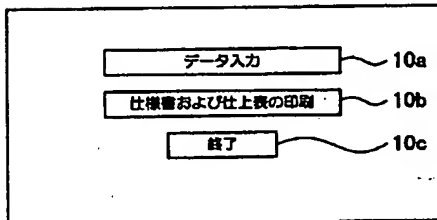
【図1】



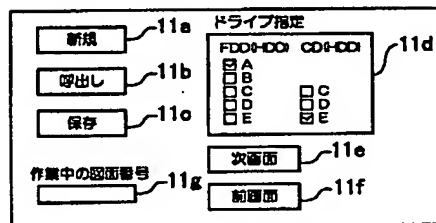
【図2】



【図3】

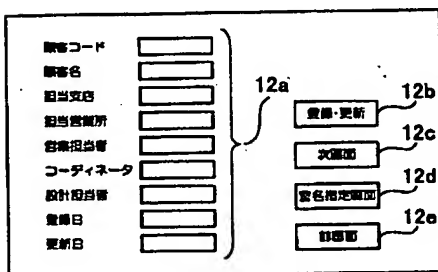


【図4】



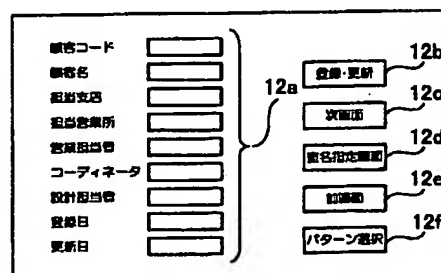
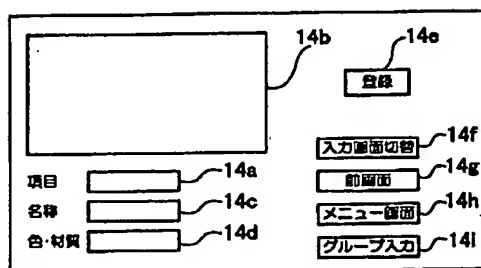
【図5】

【図6】



【図7】

【図9】



| 求任上旬(1) | 市来(2) | 求任上旬(3) | 求任上旬(4) | 求任上旬(5) | 求任上旬(6) | 求任上旬(7) | 求任上旬(8) |
|---------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1 | 求任上旬 | | | | | | |
| 2 | 求任上旬 | | | | | | |
| 3 | 求任上旬 | | | | | | |
| 4 | 求任上旬 | | | | | | |
| 5 | 求任上旬 | | | | | | |
| 6 | 求任上旬 | | | | | | |
| 7 | 求任上旬 | | | | | | |
| 8 | 求任上旬 | | | | | | |
| 9 | 求任上旬 | | | | | | |
| 10 | 求任上旬 | | | | | | |
| 11 | 求任上旬 | | | | | | |
| 12 | 求任上旬 | | | | | | |
| 13 | 求任上旬 | | | | | | |
| 14 | 求任上旬 | | | | | | |
| 15 | 求任上旬 | | | | | | |
| 16 | 求任上旬 | | | | | | |
| 17 | 求任上旬 | | | | | | |
| 18 | 求任上旬 | | | | | | |
| 19 | 求任上旬 | | | | | | |
| 20 | 求任上旬 | | | | | | |
| 21 | 求任上旬 | | | | | | |
| 22 | 求任上旬 | | | | | | |
| 23 | 求任上旬 | | | | | | |
| 24 | 求任上旬 | | | | | | |
| 25 | 求任上旬 | | | | | | |

グレード1

グレード2

グレード3

グレード4

16a

16b

加算30

✱

【従来の技術】住宅の建築を行う場合、まず、建築する土地の広さや状態等を考慮しながら、厨房等の各設備やリビング等の部屋の配置を示す設計図面を作成する。そして、この設計図面に基づき、床や天井および壁などの仕上材、階段の段数、浴室のバスユニットの種類や色、および厨房のキッチンの種類や色といった内装の仕様や仕上を決定し、仕様書や仕上書を作成する。

フロントページの続き

(72)発明者 大橋 智

大阪府大阪市北区大淀中一丁目1番88号
積水ハウス株式会社内

(72)発明者 伊藤 宏一

東京都大田区大森北3-4-5平安ビル7
階 株式会社スペースムー内

Fターム(参考) 5B049 BB05 CC02 CC11 DD01 DD02

EE01 EE07 FF02 FF03 FF04

GG04 GG07

5B072 BB00 CC00 CC24 DD02 MM11